

呼吸器内科

部長 中岡 大士 石田 正之

診療体制

私と石田正之先生との常勤2名体制に加えて、専攻医として馬場咲歩先生を迎え、3名体制で診療を行っている。

診療の実際

当科の診療方針はこれまでと変わることなく、偏りなく呼吸器領域全般の診療に取り組んでいるが、他施設で対応困難となりやすい間質性肺炎、悪性腫瘍、膿胸、気胸などの疾患が占めるウエイトが大きくなっている。新型コロナウイルス感染症は5類となり、診療がその影響に左右される程度はやや減少しているといえるものの、依然として重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患の多い者において診療の脅威となり続けている。

呼吸器内科の診療にとどまらず、これまで同様、呼吸管理委員会、感染対策委員会、がん化学療法委員会、医療安全委員会などの委員会活動を通して科の枠を超えて病院全体の診療の質向上に努めている。人工呼吸管理については、診療科を問わず、ほぼすべての呼吸管理患者に適切な陽圧換気および早期離脱を実現するために、呼吸管理チーム(RCT)による呼吸器ラウンドを継続している。詳細は呼吸管理委員会の年報を参照いただきたい。

当科が特に力を入れている診療の一つである内視鏡検査について、本年は136件の気管支鏡検査・処置、4件の局所麻酔下胸腔鏡検査を施行した。検査内容の詳細は以下のとおりで難治性気胸に対するEWSを用いた気管支充填術もおこなっているが、2024年は気管支内ステント留置術とともに適応となる症例はなかった。2022年12月に高知県で初めてとなる凍結生検(クライオバイオプシー)を導入し、2024年は1件実施した。今後はさらに実施を増やすことを目標としている。

悪性腫瘍の疑いでおこなった気管支鏡検査は87件であったが、そのうち正しく診断できた症例は91.9%と高い水準を維持した。また、気管支鏡検体で遺伝子パネル検査に提出した症例のうち、検体の質や量の問題で解析ができなかった割合はゼロとなり病理診断部との充実した連携がもたらした好実績と言える。悪性腫瘍と正診できた80件のうち、3分の1を上回る30件において手術または定位放射線治療による根治的治療をおこなうことができた。

教育・研究

引き続き、初期・後期研修医の教育ばかりでなく、学生の教育にも力を入れ、印象に残った症例や教育的な症例であれば、積極的に学会や研究会での報告を行っている。2024年は呼吸器学会中四国地方会で研修医が優秀演題賞を受賞した。

研究について

引き続き長崎大学との肺炎の共同研究を行っており、これまでAPSG-J、JPAVE J-PAVE2 studyを行ってきたが、現在新たな全国規模の肺炎疫学研究APSG-J-2を行っている。引き続き中国・四国呼吸器疾患関連事業包括支援機構(CS-Lung)にも参加し、いくつかの臨床試験に参加している。今後も臨床診療を中心に、教育、学術的な発信を継続してい

きたいと考えている。

課題

当院に限らず、全国的に呼吸器内科は絶対的な不足状態にある。呼吸器診療の楽しさや魅力を伝え、発信を続け、一人でも多くの次世代を担う呼吸器内科医の育成を行う。また我々の診療をサポート、もしくはともに歩んでいくメディカルスタッフの育成も急務であり継続していく。

学術発表・講演会等

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
重症菌周炎を有する急性膿胸症例における検出微生物の検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士	第 64 回呼吸器学会総会	4 月 5 日～7 日 横浜
気管支鏡の洗浄・消毒指針(解説)	笹田真滋 栗野暢康 石田正之 内村圭吾 錦木孝之 鳥羽博明 猶木克彦 西井洋一 姫路大輔 日本呼吸器内視鏡学会学術委員会気管支鏡の洗浄・消毒に関するワーキンググループ	第 47 回日本呼吸器内視鏡学会	6 月 27 日～28 日 大阪
病歴と喀痰塗抹所見より、適切な治療導入が行えた <i>Acinetobacter baumannii</i> による市中肺炎の一例	佐々木康介 馬場咲歩 藤原絵理 中岡大士 石田正之	第 70 回呼吸器学会中四国地方会 (春)	7 月 18 日～7 月 20 日 米子
急性膿胸症例における胸水培養に対して、血液培養ボトルへの注入検体を併用する事の有用性に関する検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 中岡大士	第 70 回呼吸器学会中四国地方会 (春)	7 月 18 日～7 月 20 日 米子
市中発症急性膿胸での Oral-type pleural infection 症例における検出病原菌の検討	山中莉子 入交美穂子 島田藍 吉田さや佳 吉永 詩織 森本 瞳 中岡 大士 石田正之	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
急性肺炎・仮性肺嚢胞治療での経皮的ドレナージによる肺胸腔瘻で発症した <i>Shewanella algae</i> 、 <i>Candida albicans</i> 膿胸の一例	竹倉皓大 馬場咲歩、藤原絵理、中岡大士、石田正之	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
Osimertinib 投与中に B 型肝炎ウイルス (HBV) の再活性化を生じた、進行肺腺癌の一例	宮地博紀 馬場咲歩 藤原絵理 中岡大士 石田正之	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
成人市中発症肺炎症例での喀痰検体を用いた multiplex-PCR にて RS ウイルスが検出された症例の検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 中岡大士 森本浩之輔	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
市中発症急性膿胸における、 <i>Streptococcus anginosus</i> group 検出例の検討	石田正之 馬場咲歩 藤原絵理 中岡大士	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬による加療中に胃癌が疑われるも精査にて irAE 胃炎と診断した一例	中岡大士 馬場咲歩 石田正之 大川良洋 中嶋絢子	第 71 回呼吸器学会中四国地方会 (秋)	11 月 29 日～30 日 高知
難治性肺化膿症に対し、開窓術につづく荒蕪肺切除・有茎広背筋弁充填・胸郭形成術で二期的に治療した一例	立道佳祐 穴山貴嗣 森山重治 白神実 石田正之 中岡大士 岸本浩一郎 藤原絵理 赤松順 杉田直哉 木村祐介	第 41 回日本呼吸器外科学会	5 月 31 日～6 月 1 日 長野・軽井沢

講演

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
Clinical remission（臨床的寛解）を目指す時代の喘息治療-トリプル製剤の意義・位置づけ	石田正之	高知県重症喘息講演会	1月19日 高知
開業医の先生方に伝えたい当院の呼吸器診療	中岡大士	難治性喘息 WEB セミナー	3月13日 高知
外来で遭遇する呼吸器感染症の治療戦略-抗菌薬の適正使用の観点から-	石田正之	安芸医師会講演会	6月06日 安芸
Clinical remission（臨床的寛解）を目指す時代の重症喘息治療	石田正之	重症喘息 WEB 講演会	9月19日 高知
高齢者肺炎予防における肺炎球菌ワクチンの位置づけ	石田正之	感染症 WEB セミナー	11月6日 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
気管支鏡の洗浄・消毒指針 Chapter 6 消毒剤の種類と特徴 pp394-397	笹田 真滋(同愛記念病院 呼吸器・腫瘍センター呼吸器内科), 粟野 暢康, 石田 正之, 内村 圭吾, 鍋木 孝之, 鳥羽 博明, 猶木 克彦, 西井 洋一, 姫路 大輔, 日本呼吸器内視鏡学会学術委員会気管支鏡の洗浄・消毒に関するワーキンググループ	気管支学.	2024;6:381-400
膿胸（急性膿胸を中心に）	石田正之 中島啓編著	呼吸器内科診療の掟	2024年07月
Pulmonary function and chest CT abnormalities 3 months after discharge from COVID-19, 2020-2021: A nation-wide multicenter prospective cohort study from the Japanese respiratory society.	Kamata H, Takamatsu K, Fukunaga K, Chubachi S, Nakagawara K, Namkoong H, Terai H, Tanaka K, Sato S, Hagiwara E, Takei R, Kondoh Y, Takazono T, Hashimoto M, Tasaka S, Ohrui T, Tanino Y, Mineshita M, Komase Y, Miyazaki K, Nishikawa M, Ando A, Kita H, Ichihara E, Ohshimo S, Murata Y, Ishida M, Kobayashi S, Uchida T, Tateno H, Ikari J, Terashima T, Kozu Y, Tateishi T, Shinkai M, Sagara H, To Y, Ito Y, Yamamoto M, Yamamoto Y, Kita T, Ito Y, Tomii K, Fujita Y, Funaki Y, Yatera K, Yamasue M, Komiya K, Kozawa S, Manabe H, Hozumi H, Horiguchi T, Kitajima T, Nakano Y, Nagaoka T, Hojo M, Ebihara A, Kobayashi M, Takayama K, Jinta T, Sawai T, Fukuda Y, Kaneko T, Chin K, Ogura T, Mukae H, Ishii M, Yokoyama A.	Respir Investig.	2024 Jul;62(4):572-579.